

# 特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
29	健康増進事業に関する事務 基礎項目評価書

## 個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

三股町は、健康増進事業に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを理解し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

## 評価実施機関名

三股町長

## 公表日

令和6年12月10日

## I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務
②事務の概要	健康増進法(平成14年法律第103号)等関連法令に基づき以下の事務において、特定個人情報ファイルを取り扱う。 ①検診及び健康診断の結果の記録管理に関する事務 ②健康相談、訪問指導その他の保健指導に関する事務 ③各種検(健)診事業対象者の把握及び記録管理に関する事務
③システムの名称	・健康かるて ・番号連携サーバ(団体内統合宛名システム)・中間サーバー
2. 特定個人情報ファイル名	
健康増進事業情報ファイル	
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号利用法」という。)第9条第1項 別表第一 第76号 番号利用法別表第一の主務省令で定める事務を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第5号)の第54条
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	<div>&lt;選択肢&gt;</div> <div>1) 実施する</div> <div>2) 実施しない</div> <div>3) 未定</div> <div>[ 実施する ]</div>
②法令上の根拠	【情報照会】 番号利用法第19条第8号 別表第2 102の2の項 番号利用法別表第2の主務省令で定める事務を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第7号)第50条  【情報提供】 番号利用法第19条第8号 別表第2 102の2の項 談合利用法別表第2の主務省令で定める事務を定める命令(省令第7号)第50条
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	町民保健課
②所属長の役職名	課長
6. 他の評価実施機関	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	三股町町民保健課健康推進係(健康管理センター) 宮崎県北諸県郡三股町大字樺山3902番地2 電話:0986-52-8481
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	三股町町民保健課健康推進係(健康管理センター) 宮崎県北諸県郡三股町大字樺山3902番地2 電話:0986-52-8481
9. 規則第9条第2項の適用 [ ]適用した	
適用した理由	

Ⅱ しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人か	[ 1万人以上10万人未満 ]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和6年4月1日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[ 500人未満 ]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和6年4月1日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[ 発生なし ]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

Ⅲ しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

## IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>[</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">基礎項目評価書</div> <span>]</span> </div>		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書  2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>[</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">十分である</div> <span>]</span> </div>	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>[</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">十分である</div> <span>]</span> </div>	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>[</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">十分である</div> <span>]</span> </div>	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 <span style="float: right;">[     ] 委託しない</span>		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>[</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">十分である</div> <span>]</span> </div>	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) <span style="float: right;">[     ] 提供・移転しない</span>		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>[</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">十分である</div> <span>]</span> </div>	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 <span style="float: right;">[     ] 接続しない(入手)     [     ] 接続しない(提供)</span>		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>[</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">十分である</div> <span>]</span> </div>	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>[</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">十分である</div> <span>]</span> </div>	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[          十分である          ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 人手を介在させる作業 [          ] 人手を介在させる作業はない		
人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か	[          十分である          ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインに従い、マイナンバー登録や副本登録の際には、本人からのマイナンバー取得の徹底や、住基ネット照会を行う際には4情報又は住所を含む3情報による照会を行うことを厳守している。また、上記のほか、特定個人情報の取扱いに関して手作業が介在する以下のような場合は、いずれの局面においても複数人での確認を行うようにしており、人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分であると考えられる。・申請書に記載された個人番号及び本人情報のデータベースへの入力・特定個人情報の記載がある申請書等(USB メモリを含む。)の保管・個人番号及び本人情報が記載された申請書の廃棄	
9. 監査		
実施の有無	[ <input type="radio"/> ] 自己点検          [          ] 内部監査          [          ] 外部監査	
10. 従業者に対する教育・啓発		
従業者に対する教育・啓発	[          十分に行っている          ]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない
11. 最も優先度が高いと考えられる対策 [          ] 全項目評価又は重点項目評価を実施する		
最も優先度が高いと考えられる対策	[ 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 ] <選択肢> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要なない情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業者に対する教育・啓発	
当該対策は十分か【再掲】	[          十分である          ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	委託先の選定に当たっては、委託先の設備、技術水準、経営状況、従業者に対する監督・教育の状況等を確認し、当該事業者において行政機関等と同等の安全管理措置を講じることができると判断した。また、契約書において、次の内容を義務付けている。・委託する業務の遂行に必要な範囲を超える事業所からの特定個人情報の持ち出しは禁止とすること。・再委託については原則として禁止し、やむを得ず再委託をする必要がある場合は、委託元の承認を得ること。これらの対策を講じていることから、委託先における不正な使用等のリスクへの対策は「十分である」と考えられる。	

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和4年2月28日	公表日	令和元年6月28日	令和4年2月28日	事後	
令和4年2月28日	1-① 事務の名称	健康増進に関する事務	健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務	事後	
令和4年2月28日	1-② 事務の概要	健康増進法(平成14年法律第103号)等関連法令に基づき以下の事務において、特定個人情報ファイルを取り扱う。 1 健康教育、健康相談、訪問指導 2 各種検診(歯周病、骨粗鬆症、肝炎ウイルス) 3 健康診査 4 保健指導 5 がん検診	健康増進法(平成14年法律第103号)等関連法令に基づき以下の事務において、特定個人情報ファイルを取り扱う。 ① 検診及び健康診断の結果の記録管理に関する事務 ② 健康相談、訪問指導その他の保健指導に関する事務 ③ 各種検(健)診事業対象者の把握及び記録管理に関する事務	事後	
令和4年2月28日	1-① システムの名称	健康管理システム	健康管理システム 番号連携サーバ(団体内統合宛名システム) 中間サーバ	事後	
令和4年2月28日	3 法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表第一 第76号 健康増進法(平成14年法律第103号)第17条第1項又は第19条の2	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号利用法」という。)第9条第1項 別表第一 第76号 番号利用法別表第一の主務省令で定める事務を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第5号)の第54条	事後	
令和4年2月28日	4-① 実施の有無	実施しない	実施する	事後	
令和4年2月28日	4-② 法令時用の根拠		【情報照会】 番号利用法第19条第8号 別表第2 102の2の項 番号利用法別表第2の主務省令で定める事務を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第7号)第50条  【情報提供】 番号利用法第19条第8号 別表第2 102の2の項 談合利用法別表第2の主務省令で定める事務を定める命令(省令第7号)第50条	事後	
令和4年2月28日	Ⅱ 1-1 対象人数	1000人以上1万人未満	1万人以上10万人未満	事後	
令和4年2月28日	いつの時点の計数か	平成31年4月1日	令和4年2月28日	事後	
令和6年12月10日	公表日	令和5年5月1日	令和6年12月10日	事前	
令和6年12月10日	③システムの名称	・健康管理センター ・番号連携サーバ(団体内統合宛名システム)・中間サーバ	・健康かるて ・番号連携サーバ(団体内統合宛名システム)・中間サーバ	事前	
令和6年12月10日	Ⅱ しきい値判断項目	令和4年2月28日	令和6年4月1日	事前	
令和6年12月10日	Ⅳ-8 人手を介在させる作業	様式の変更に伴う新設	十分である  マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインに従い、マイナンバー登録や副本登録の際には、本人からのマイナンバー取得の徹底や、住基ネット照会を行う際には4情報又は住所を含む3情報による照会を行うことを厳守している。また、上記のほか、特定個人情報の取扱いに関して手作業が介在する以下のような場合は、いずれの局面においても複数人での確認を行うよう[にしており、人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分であると考えられる。・申請書に記載された個人番号及び本人情報のデータベースへの入力・特定個人情報の記載がある申請書等(USBメモリを含む。)の保管・個人番号及び本人情報が記載された申請書の廃棄	事前	
令和6年12月10日	Ⅳ-11 最も優先度が高いと考えられる対策	様式の変更に伴う新設	十分である  委託先の選定に当たっては、委託先の設備、技術水準、経営状況、従業者に対する監督・教育の状況等を確認し、当該事業者において行政機関等と同等の安全管理措置を講じることができると判断した。また、契約書において、次の内容を義務付けけている。・委託する業務の遂行に必要な範囲を超える事業所からの特定個人情報の持ち出しは禁止とすること。・再委託については原則として禁止し、やむを得ず再委託をする必要がある場合は、委託元の承認を得ること。これらの対策を講じていることから、委託先における不正な使用等のリスクへの対策は「十分である」と考えられる。	事前	